

# がんの薬物療法最前線

## ～夢の新薬はあるのか～

九州がんセンター 臨床研究センター長、消化管・腫瘍内科部長  
講師 江崎 泰斗医師

昨年、日本人の研究者がノーベル賞を受賞し免疫チェックポイント阻害薬という画期的新薬の開発につながったことが広く知られました。

また国は「がんゲノム医療」という、がんの遺伝子を調べてそれに合う治療薬を選択し、個別に効果的にがん治療を行う体制を進めており、がん患者さんの期待は大きく膨らんでいます。

従来と様変わりするがんの薬物療法について、その現実と将来への期待についてお話します。

**日時** 2019年2月3日(日)

**午後2時30分～4時(開場:午後2時)**

**場所** ふれあい文化センター 旧館2階 大会議室

**定員** 50名程度(申込不要) **参加無料**

**お問い合わせ先** 春日市民図書館 092-584-4646